



こんにちは。停車場初めての執筆となる高2の加藤です。

今年の7月、私は、同じく高2の宗像と2泊5日の山陰・九州旅行に行ってきました。その様子を綴ろうと思います。下手な文章になりますが、最後まで読んでいただくと幸いです。

軽くメンバー紹介

名前	学年	紹介文
加藤雄己	高2	鉄研 HP 班班長。この旅行の計画者。恐らく鉄研の中で最も鉄道の知識が薄い部員。鉄研屈指のJリーグファン兼浦和レッズサポーター。趣味は、サッカー観戦と弾丸旅行。
宗像佐斗史	高2	鉄研部員。鉄研一のムードメーカー兼問題児。鉄道に関しては幅広い知識を持ち、鉄道模型コンテスト鉄道クイズ大会、男子校フェスタ鉄道クイズ大会の高輪の優勝に大きく貢献。鉄研屈指の声優好き。遅刻魔。

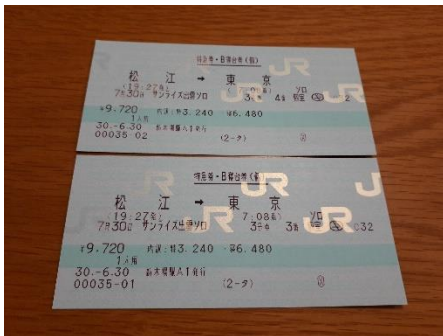


4月某日、私はサンライズ出雲を使い中国地方を巡る旅行を計画した。芸備線・木次線・一畑電車などに乗りながら、厳島神社・出雲大社などの観光スポットを巡るというものだった。スケジュール調整やホテル予約も早い段階に済ませ、さらに、サンライズ出雲の切符を取ることに成功した。あとは、旅行に行くだけだと思ったが、まさかあんな悲劇が起こるとはこの時は思いもしなかった…。

7月8日、旅行の約2週間前のこの日、私にあるニュースが飛び込んできた。西日本豪雨に関するニュースだった。私は、大変だなと思って見ていたが、交通機関の状況のニュースが流れたとき、私に衝撃が走った。なんと、芸備線を始め旅行で利用する予定の多くのJRの路線が土砂災害を受け、復旧のめどが立

たないというのだ。私は、真っ先にサンライズ出雲のことが思い浮かんだ。サンライズ出雲は伯備線を通る寝台特急のため、当然この日は運休となった。私は、旅行前に復旧することを願っていたが、調べてみると、伯備線の被害が私の想像よりもはるかに大きいことが分かった。そして、その約1週間後、無情にも私の乗る予定のサンライズ出雲の運休が JR 西日本の HP にて発表された。さらに、この他にも大きな問題があった。それは、私が東広島市内のホテルを予約していたということだ。実は、私たちが広島に行く予定の日は、コンサートや花火大会があった影響で広島市内のホテルがすぐに埋まってしまっていた。そのため、私は隣の東広島市内のホテルを予約したが、西日本豪雨により、東広島市は大きな被害を受けてしまい、ホテルまで行く手段として利用する予定だった山陽本線も復旧のめどが立たない状況になってしまった。そのため、ホテルまで行く手段が新幹線のみとなってしまった。当然、かなりの額が追加でかかるため、私たちにはホテルに行くためだけに新幹線を利用するということには抵抗があった。私の中では旅行中止も過った。

かなり悩んでいた私だったが、ふと夜行バスのサイトを見ていたら、あるものが目に飛び込んできた。なんと、私たちが広島に行く予定の日の広島～福岡の夜行バスに空席があったのだ。この日は、広島市内のホテルの空室がないのと同様に、夜行バスにも空席がないのかと勝手に思い込んでいたが、このバスは数席空いていた。私は急いで予約し、そして、旅行先を中国地方から山陽・九州地方に切り替えるという決断をした。九州地方のホテルはそれなりに空室があったため、私はいまいこと計画を立てることが出来た。実に旅行のわずか1週間前だった。私は、5日間にも及ぶ壮大な旅行をわずか1週間前に計画するというのは初めてだったが、うまいこと計画を立てられたときにはかなりの爽快感があった。そして、運命の旅行当日を迎えた。



▲無駄となってしまったサンライズ出雲の切符

線区	1ヶ月以上の長期の運転見合わせ区間	主な被害内容
山陽線	三原～海田市 駅間	土砂流入、盛土流出【写真①】、土砂堆積【写真②】、変電所水没
	柳井～徳山 駅間	斜面崩壊、変電所水没
姫新線	上月～新見 駅間	土砂流入
津山線	野々口～牧山 駅間	土砂流入
伯備線	豪渓～上石見 駅間	土砂流入、変電所水没
芸備線	新見～下深川 駅間	橋桁流出【写真③】、橋桁変状、土砂流入
福塩線	府中～塩町 駅間	土砂流入
因美線	津山～智頭 駅間	土砂流入
呉線	三原～海田市 駅間	土砂流入、斜面崩壊、土砂堆積
岩徳線	岩国～櫛ヶ浜 駅間	土砂流入、盛土流出

▲1ヶ月以上の運転見合わせの路線はこんなにもあった



1日目

1、旅行当日の朝

私は、朝 4 時半頃に起床した。外は、夏だからかすでにうっすらと明るかった。私は、4 時半まで起きていることは、たまにあるのだが、4 時半に起きることは、旅行時以外ほぼないので、私はこれから長旅に出かけるのだなと実感させられた。そして、旅行前ながらこの旅行の最初の山場を迎えた。それは、旅行の相棒・宗像を起こすことだ。彼は、私とのサッカー観戦の約束に 2 回連続で 1 時間以上遅れるという不名誉な記録を持つほどの遅刻魔だ。約束の相手と内容も問題だが…。彼を起こさなければ、この旅行が始まらないし、計画も狂う。しかし、私は「絶対に起きろよ！（フリではありません。）」と念を押すくらいしか対策をしていなかった。私は、とりあえず電話をかけてみた。

「そもそもスマホの電源ついてなかったら終わりだよな…。」

「あいつの眠りの深さを考えると、マナーモードにしていた場合、起きるのに時間かかるよな…。」

そんな不安が頭の中で過った。そして、彼は 1 回目の電話には出なかった。私の不安はさらに増したが、スマホの電源がついていることは分かったため、粘ってもう 1 度電話をかけてみた。しばらく待っていると、電話の発信音が突然止まり、彼の声が聞こえた。そう、彼は起きていたのだ。彼曰く、1 回目の電話に出なかった理由は気付かなかっただけで、その 15 分ほど前に起きていたらしい。私は、一安心し旅行の準備をした。彼に偉そうに電話をしておきながら、私は旅行の準備が長引き、ギリギリ間に合う時間に家を出ることとなった。

2、ひたすら西へ

新橋 7:45→→→東海道本線 普通 熱海行→→→熱海 9:31

来た車両は、E233 系だった。東京では当たり前のように見かける車両だが、この車両が 3 日以上見ることができなくなると考えると、これから行く旅行の長さを実感させられた。品川で宗像がこの列車に乗ってきて、その時に合流する予定だったため、私は、自分のいる号車とドア番号を彼に伝えた。しかし、品川に着いても彼は私の元に来なかった。あまりに来ないので確認してみると、なんと、私の伝えたドア番号が間違っていたのだ。何でも自分が合っていると思うのは本当に良くないなと思ひ知らされた。結局、彼と合流できたのは、列車が平塚を過ぎた頃だった。

熱海 9:37→→→東海道本線 普通 島田行→→→興津 10:34

熱海駅では、元東急 8000 系が停まっていた。そして、私たちの乗る島田行列車も停まっていた。車両は、313 系 2000 番台だった。いよいよここから地獄のロングシート区間突入となる。車内は、それなりに混んでいたが、私たちは、運良く座ることが出来た。三島駅で伊豆箱根鉄道駿豆線の下派手なアニメラッピング車が停まっていたり、普通は「次は ○○」となるはずの車内案内表示器が東田子の浦の時だけ「次 東田子の浦」となっていたりしたのが、印象的だった。

興津 10:43→→→東海道本線 普通 浜松行→→→浜松 12:15

興津ではそれなりに待ち時間があったが、貨物列車の通過などがあり、面白かった。そして、私たちの乗る車両が来た。来た車両は 211 系 5000 番台だった。車内で今日このからどのような日程にするか話

し合っていたら、あっという間に浜松に到着した。

お腹がすいてきたため、浜松で休憩がてら昼食を摂ることにした。私はご当地の料理が食べたかったため、駅構内にある浜松餃子の店で浜松餃子を食べることにした。少々並んでいたものの、回転率が早かったためかすぐに店内に入れて、料理もすぐに来た。味は、やはり美味しかった。浜松餃子の特徴であるもやしもちちゃんと付いてきており、たれとの相性も抜群だった。



▲熱海駅に停まっていた元東急 8000 系



▲浜松餃子。美味しかった。

浜松 13:20→→東海道本線 普通 豊橋行→→豊橋 13:55

ここでようやくロングシート区間脱出かと思いきや、来た車両は、ロングシートの 211 系 5000 番台だった。この車両が来た瞬間、私以上に宗像がショックを受けていた。そして、列車は静岡県を抜け、愛知県に入り、あっという間に豊橋駅に到着した。

豊橋 14:02→→東海道本線 快速 大垣行→→大垣 15:32

私たちが豊橋に到着したとき、私たちの乗る車両は入線していた。車両は、313 系 5000 番台だった。ようやく、**地獄**のロングシート区間が終わり、転換クロスシートの区間に入った。私は、ようやくロングシート区間から解放されたからか、列車が岡崎を発車した頃に寝てしまい、気付いたら岐阜だった。そのため、名古屋周辺の名鉄との並走区間は全く見る事が出来なかった。そして、起きてからあっという間に大垣に到着した。

大垣 15:37→→東海道本線 普通 米原行→→米原 16:12

ここでは、先ほど私たちが乗っていた大垣行列車が米原行に変わっただけなので、実質乗り換え不要だった。この現象を鉄道ファンの中では「化ける」とよく言われている。私は、これは体験するのが初めてだったため、違和感だらけだった。そして、列車は岐阜県を抜けて滋賀県に入り、米原に到着した。

225 系 100 番台と 223 系 1000 番台を求めて

ここから JR 西日本管内に入る。この時、宗像はあるものを楽しみにしていた。それは、225 系 100 番台と 223 系 1000 番台の 2 つのレア車に乗ることだ。彼は、過去にこれらの車両に乗るチャンスが 2 回あったが、不運なことに 2 回とも逃していた。そのため、今回の旅行で列車を何本でも待ち、何が何でも

どちらかの車両乗ると決めていたのだ。早く大阪で観光をしたかった私には、はた迷惑な話だが…。

米原 16:17→→→東海道本線 新快速 播州赤穂行→→→近江八幡 16:36

車両は、223系2000番台だった。いきなり目的の車両が来るという奇跡は起こらなかった。そして、宗像曰く、最も目的の車両に遭遇する確率が高いという山科まで行く予定だったが、米原発車から約2分後にある車両とすれ違った。225系だった。私にはよくわからなかったが、宗像がそれに気づき、「225系の0番台か100番台だから、どこかの駅でその列車が米原から折り返してくるのを待とう。」と言い出したので、近江八幡駅で待つことにした。

近江八幡 16:54→→→東海道本線 快速 網干行→→→野洲 17:01

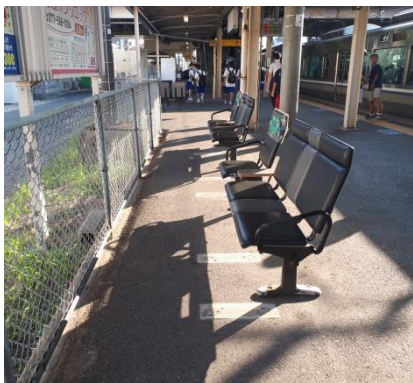
宗像の読みは当たり、225系が来た。しかし、残念ながら0番台だった。しかし、「0番台でも乗ろう。」と宗像は言ったため、少しの区間乗り、野洲で新快速に乗り換えることにした。この時、快速に乗ったままの方が早く山科に着くということは、知る由もなかった…。

野洲 17:13→→→東海道本線 新快速 姫路行→→→山科 17:36

野洲駅の1番線ホームは、単式ホームで片側がフェンスになっていたため、線路と垂直ではなく、線路と真逆のフェンス向きのベンチがあり、ベンチからの景色が寂しすぎて面白かった。来た車両は、223系2000番台だった。そして、あっという間に山科に到着した。

山科 18:01→→→東海道本線 快速 網干行→→→大阪 18:50

山科には、草津線や湖西線から東海道本線に乗り入れる列車も来るため、頻繁に列車が来た。宗像がここで待とうと言った理由もわかる。待っているときに、レトロな緑の車体の113系や117系も来たが、宗像は、それに見向きもせず目的の車両を待っていた。そして、網干行の快速が来た。「おー225系じゃん。しかも100番台じゃん！」彼は大喜びしていた。そう、目的の車両の225系100番台が来たのだ。私も一緒に待っていたからか、目的の車両が来て嬉しかった。そして、それに乗り大阪に向かった。



▲野洲駅の寂しいベンチ



▲念願の225系100番台



▲225系100番台の行先表示器

3、大阪の空の玄関口へ

大阪 19:02→→→大阪環状線(内回り)→→→天王寺 19:23

ここで、宗像がりんくうタウンに行きたいと言っていたので、どうせなら関西空港まで行こうと提案したら、賛成してくれたため、関西空港まで行くこととなった。そのため、関空快速を待っていたところ、なんと 323 系が来た。323 系は、宗像も私も乗りたかった車両なので、関空快速を待たずに乗ることにした。夜の大阪の街を眺めていたら、天王寺に到着した。

天王寺 19:30→→→阪和線・関西空港線 関空快速 関西空港行→→→関西空港 20:21

来た車両は、225 系 5000 番台だった。列車は、阪和線を抜け、関西空港線に入った。そして、いよいよ関西国際空港連絡橋に差し掛かる。私は、関西空港線初乗車だったので、この橋を渡るのを密かに楽しみにしていた。そして、景色を見るために私は先頭車の一番前に向かった。先頭車からは、空港から漏れる光が煌めく夜の海が見えた。鮮やかで綺麗だった。先頭車には、外国人の乗客が多くいた。恐らく母国に帰るのだろう。日本を離れる前にこんな絶景を見ることが出来るなんて羨ましいなと思っていたら、関西空港駅に到着した。

関西空港駅到着後、すぐに大阪に戻るのはつまらないと思った私たちは、夕食を摂るついでに関西国際空港を散策することにした。夕食は、第 2 ターミナル内にあるバーガーキングで摂った。旅行中にも味わえる物を食べるのもまたいいものである。そして、私たちは、空港内であることに気付いた。それは、このまま関西空港を出てもホテルに 24 時頃に到着するということだ。私たちは、急いで関西空港駅に戻り、乗りたかった南海のホームに向かった。

関西空港 21:28→→→南海空港線 空港急行 難波行→→→りんくうタウン 21:33

車両は、9000 系だった。ホームの反対側には、ラピートαも停まっていた。列車は暗闇の中を駆け抜けて、りんくうタウンに到着した。ここまで来た目的は、宗像がこの駅に行きたがっていたからなので、私たちは、ここで降りた。



▲唯一撮れた空港っぽい写真

▲JR 側のホームには、はるかがいた

▲一方、南海側にはラピートαが

りんくうタウン駅は非常に面白い駅だ。この駅は、関西空港駅と同様に JR と南海の共同使用駅であるが、南海と JR の乗り場がホームを挟んで隣同士である。そして、コンコースと改札も両社共用だ。私たちは、この駅で JR に乗り換えるために改札外へ出ることにした。駅の外からは、関西国際空港連絡

橋へ延びる高速道路を眺めることが出来た。これらの高速道路に囲まれているのも、この駅の大きな特徴である。

りんくうタウン 21:44→→関西空港線・阪和線 関空快速 天王寺行→→天王寺 22:26

来た車両は、225系 5000番台だった。車内には、キャリーバッグを持った乗客が多くいた。恐らく海外旅行から大阪に帰ってきたのだろう。今思うと、私たちが同じように大きいバッグを持っていたため、それと同じような乗客だと周りの人から勘違いされたのかなと考えてしまう。そして、そんな客を乗せながら、列車は天王寺に到着した。

天王寺 22:32→→大阪環状線(内回り) 普通 天王寺行→→大阪 22:53

車両は、行きと同じ323系だった。しかし、後から確認したところ、なんと323系のトップナンバーだった。私は、トップナンバーの車両に出会えるとは到底思わなかったので、嬉しかった。



▲まさかのトップナンバー



▲323系の特徴である行先表示器

大阪 23:00→→東海道本線・山陽本線 新快速 網干行→→姫路 0:04

来た車両は、223系 2000番台だった。車内には、飲み会終わりの大学生などがいた。すると、宗像は「後ろの4両見に行ってくる。」と言い、尼崎で後ろの4両へ行ってしまった。数駅過ぎたら戻ってくると私は思っていたが、なかなか戻らず、結局、加古川を過ぎても彼は戻ってこなかった。私は、「車内のどこかで寝ているんじゃないか。」と思い、姫路までの間、車内を探し回った。なぜなら、姫路で寝過ごすと、大阪方面の終電が終わっているため、姫路に戻るにはタクシーしか方法がないからだ。しかし、前8両に彼の姿はなかった。そして、目をまたいで、列車は姫路に到着した。すると、彼は、後ろの4両からしれっと出てきた。そして、ある事実気付いた。それは、後ろの4両が、彼の乗りたがっていた223系 1000番台だったということだ。私は思わず、その事実を教えてくれなかった理由を彼に問い詰めたところ、なんと、彼のスマホの電池が切れ、LINEでの報告が出来なかったという理由が返ってきた。「私も不運に巻き込まれて、車両に乗れなくなることがあるんだな」とこの時思った。なお、私の読みは当たっていたらしく、彼は後ろの4両で寝ていて、姫路到着直前に起きたらしい。人騒がせな奴だ。

姫路到着後、近くのビジネスホテルへ行き、そこで一泊した。こうして、激動の1日目が終わった。



1、いよいよ広島へ

2日目の朝を迎えた。この日は、この旅行の中では朝遅いほうだったので、ホテルで朝食を摂り余裕を持ってチェックアウトした。そして、私たちは列車に乗る前に駅の北口へと向かった。夜に暗闇に隠れていた世界遺産・姫路城を見るためだ。せっかく姫路に来たのだから、遠くからでもこれは見ていこうと私は思っていた。そして、北口を出ると、道の奥にそびえたつ姫路城がすぐに現れた。朝の城もなかなかいいものだ。私は、朝からいいものを見ることが出来て、気分がよくなった。

姫路 8:01 → → 山陽本線 普通 岡山行 → → 岡山 9:29

来た車両は、115系だった。朝だったため、私は眠たかったが、この日は夜行バスで1泊するため、夜行バスでいち早く寝るために眠気に耐えることにした。そして、音楽を聴きながら頑張って起きていたら、岡山に到着した。

岡山 9:46 → → 山陽新幹線 みずほ 605号 鹿児島中央行 (自由席) → → 広島 10:21

私たちは、広島観光の時間をなるべく取りたかったため、ここから新幹線を使うことにした。そして、私たちは東京では乗ることのできない「みずほ」に乗ることにした。私にとっては、新幹線はこの旅行初どころか今年初だった。そのため、私は発車直後に衝撃を受けた。「何だこのスピードは!? 速すぎる…。」18きっぷで在来線に乗りまくっていた私にとっては、異次元のスピードだった。速すぎて、景色に目がついていかないほどだった。そして、あっという間に広島に到着した。宗像が車内で買ったアイスを食べきれないほどの早さだった。16歳にして、こんなにも新幹線に衝撃を受ける学生はなかなかいないだろう。しかし、これも鉄道旅行での醍醐味なのかもしれない。



▲姫路駅北口からの景色。奥には世界遺産姫路城が。



▲東京では乗ることのできない新幹線みずほ

2、広島のある有名世界遺産へ

広島駅 10:46 → → 広電 2 号線 普通 広電宮島口行 → → 原爆ドーム前 11:02

広島駅には、赤い服を着た人が多くいた。私は一瞬、私と同じレッズサポかなと思ったが、よく見たら全員カープファンだった。そう、この日は夜から広島東洋カープの試合があるのだ。私はいきなり、広島に来たことを実感させられた。私たちは、コインロッカーに荷物を預け、広島観光をすることにした。そして、私たちは広島駅の目の前に停まっていた広電に乗り込んだ。

私たちは、真っ先に原爆ドームに向かった。原爆ドームは、広島を象徴する世界遺産だ。広島といえば原爆ドームと言っても過言ではないだろう。そして、近くで眺めてみた。やはり本物の原爆ドームは、教科書に載っている写真などでは感じられない雰囲気を感じ出していた。その横には、灯籠流しで有名な元安川も流れており、私たちは、その周辺を散策した。「これが写真とかでよく見る景色か！」と思うような場所がいくつもあった。そして、私たちは原爆ドーム前停留場に戻る予定だったが、停留場から離れた場所まで歩いてきてしまったため、急遽、隣の本川町停留場まで行くことにした。



▲原爆ドーム



▲元安川越しからも撮ってみた

本川町 11:37 (通常 11:29) → → 広電 2 号線 普通 広電宮島口行 → → 広電宮島口 12:39 (通常 12:21)

私たちは、乗る予定の電車が停留場の直前まで来ていることが分かったため、急いで停留場に向かっ

た。そして、停留場の目の前に到着したが、信号待ちをしている間に、電車は発車してしまった。~~それくらい待ってくれよ~~。そのため、私たちはその8分後にある電車を待つことにした。しかし、その電車がなかなか来なかった。そして、電車は8分遅れで来た。車両は、GREEN MOVER こと広電5000形だった。私にとっては、乗りたかった広電の車両の1つだったため、嬉しかった。そして、電車は広電西広島を過ぎ、山陽本線との並走区間に入った。途中、227系に追い抜かされたりもした。さらに、電車左側に瀬戸内海が見える区間もあった。この日は快晴だったため、車窓から見える瀬戸内海は、鮮やかで美しかった。そして、奥に宮島が見えることもあった。電車が進むにつれ、宮島が大きく見えるようになった。そして、電車は最終的に18分遅れで広電宮島口に到着した。何故こんなにも電車が遅れたかは未だに謎なままだ。

3、日本三景・宮島へ

宮島口 12:55→→JR 西日本宮島フェリー 宮島行→→宮島 13:05

私たちは、JR 西日本宮島フェリーで宮島に行くことにした。このフェリーには、2つの大きな特徴がある。1つは、厳島神社の大鳥居のすぐ近くを通るということ。そして、もう1つは、青春18きっぷで乗船できるということだ。青春18きっぷでフェリーに乗るというのは、とても不思議な感覚だが、この感覚がまたいいものだ。

私たちは、宮島口12時40分発のフェリーに乗ろうとしたが、広電宮島口に着いたのが出港のわずか1分前だった。広電宮島口停留場からフェリー乗り場までは近かったものの、結局間に合わず、私たちは15分後のフェリーに乗ることになってしまった。フェリーは3階建てで、屋内客室もあったものの、私たちは大鳥居を近くから見たかったため、2階の展望デッキに向かった。展望デッキからは、美しい瀬戸内海を間近で見ることが出来た。そして、いよいよ大鳥居の最接近スポットに差し掛かった。ここからは、大鳥居のみならず、厳島神社や五重塔がはっきりと見えた。それはまさに絶景で、日本三景の素晴らしさを感じた。そして、ものの10分ほどで宮島に到着した。

宮島到着後、私たちは真っ先にお好み焼き屋に向かった。店内は外国人観光客や団体客などもいて、結構混んでいた。しばらくすると、お好み焼きが出てきた。中にはチーズや餅が入っており、とても美味しかった。そして、広島風お好み焼きの最大の特徴である麺も、ソースや他の具材との相性が抜群だった。

そして、私たちは広島のもう1つの世界遺産・厳島神社へ向かった。途中、たくさんの鹿と遭遇した。中には、寝ている鹿もあり、可愛かった。そして、厳島神社に到着した。この神社は、海の上にあるのが有名だが、私たちが来たときは潮が引いており、砂浜の上にあるような状態になっていた。私は、普段写真などで見かけるものとは違う光景を見ることが出来て嬉しかった。しかし、砂浜からの高さをもろに感じてしまい、少し怖かった。私たちは、お参りをした後、おみくじを引いた。ここ厳島神社のおみくじには「大吉」「末吉」などとは書いておらず、詳しい結果のみが書いてあった。私のおみくじの「勝負」の欄には「勝つべし」と書いてあった。

私たちは、その後大鳥居に向かった。大鳥居の辺りは、水たまりが多くあったものの、人が目の前まで来ることが出来るほど潮が引いていたので、私たちは間近で見ることが出来た。大鳥居は、原木の形や模様がくっきりと表れており、歴史を感じた。さらに、大鳥居から厳島神社本殿の間に、潮が引いた時にしか見ることが出来ない謎の川が出来ていて、印象的だった。私たちが、その川を渡ろうとして水浸しになったとは言わない。

そして、私たちは五重塔へと向かった。五重塔は高台の上にあり、高台からは先ほどまでいた厳島神社全体が見下ろせた。そして、高台の下からはあまり分からなかったが、五重塔が意外と高いことに驚かされた。五重塔の隣には、千畳閣という建造物があった。そこは、重要文化財に選ばれるほどの建造物で、中はまるで異空間のようだった。そして、その高台にも鹿がいた。どうやって、高台まで登ってきたのか今でも疑問に思う。

そして、フェリーまで時間があったため、宗像は帰り道にソフトクリームを食べていた。すると、突如宗像は鹿に襲われた。そして、持っていたソフトクリームをあっけなく鹿に奪われてしまい、あっという間にコーンごと食べられてしまった。突然の光景に、宗像を含め周囲にいた人たちはみんな唖然としていたが、私は一人だけ大笑いしていた。まさか鹿よりも卑劣な人間が一人いたとは…。そして、思わぬハプニングに見舞われながらも、私たちはフェリー乗り場に到着した。フェリー乗り場の中は、JRの駅ようになっていた。



▲お好み焼き。美味しかった。



▲「日本三景 宮島」の看板



▲大鳥居と美しき瀬戸内海



▲大鳥居。近くで見ると意外と大きい。



▲五重塔



▲宗像のソフトクリームに反応する鹿

宮島 15:40 → → JR 西日本宮島フェリー 宮島口行 → → 宮島口 15:50

私たちは、歩き疲れていたため、フェリー1階の屋内客室で過ごすことにした。屋内客室には、大きなソファと大きな窓があり、美しい瀬戸内海の景色を低い視点から眺めながら、快適に過ごすことが出来た。そして、あっという間に宮島口に到着した。

4、サンフレッチェ広島 vs 浦和レッズ

宮島口 16:03→→山陽本線 普通 海田市行(通常 瀬野行)→→新白島 16:28

西日本豪雨の影響で山陽本線の三原～海田市の区間の列車が全て運休だったため、広島方面の電車はすべて海田市行となっていた。JR西日本の中でも重要な区間であるため、是が非でも早く復旧してほしい。そして、列車が来た。来た車両はRed Wing こと 227 系だった。ステンレス製の車体がかっこよかった。車内は、大量のカープファンと数 10 人のレッズサポで埋め尽くされていた。つまり、車内はほぼ赤い人で埋め尽くされていたのだ。~~私が一般客だったら絶対に乗りたくないな。~~そして、満員電車で揺られること 25 分で新白島に到着した。

新白島 16:50→→アストラムライン 普通 広域公園前行→→広域公園前 17:22

新白島駅は、JR とアストラムラインの乗換駅として、つい 3 年前にできたため、かなり新しい駅だった。そして、アストラムラインの方の駅舎は、まるで現代アートのような見た目で見面白かった。なお、駅の電光掲示板には、この日広島で行われる予定だった花火大会の中止の案内が流れていた。そして、列車が来た。来た車両は 6000 系だった。私たちは、アストラムライン初乗車だったが、広島の街並みを離れ山奥に入っていく様子をはっきりと見ることが出来て面白かった。~~広島版ゆりかもめとは言わない。~~

広域公園前駅は、一面サンフレッチェカラーである紫に染まっていて、サンフレッチェ広島の過去の写真などが飾られていた。私たちは、帰りの切符を買い、エディオンスタジアムへ向かった。そう、この日はサンフレッチェ広島 vs 浦和レッズの試合があり、私たちはその試合を見に行くのだ。途中、上り坂が多くて大変だったが、ものの 10 分でスタジアムに到着した。スタジアム周辺には、多くの屋台が出店していた。私は、そこで「パリおこ」という、普通のお好み焼きをパリパリに焼いた麺で挟んだ料理を食べた。この日 2 度目のお好み焼きだったが、美味しかった。美味しいものは、1 度食べたくらいじゃ飽きないと感じた。そして、試合前にはサンフレッチェ広島の選手たちが募金活動を行っていた。さらに、ハーフタイムには 1 分間、花火が上がっていた。この日の広島での花火大会の中止を知っていた私は、得した気分だった。そして、試合は 1-4 で浦和レッズが勝利した。~~本当は、試合のことを 5 ページ分くらい書きたいのだが、今回はやめておこう。~~私は、厳島神社でのおみくじで「勝負」の欄に「勝つべし」と書いてあったことを思い出し、この勝利は神がもたらしてくれたものと思った。神様ありがとうございます！~~こんなことに勝負運を使っているのか。~~とにかく楽しいサッカー観戦だった。



▲紫に染まる広城公園前駅



▲パリおこ美味しかったです



▲ハーフタイムの花火。綺麗でした。

広城公園前 21:32→→アストラムライン 普通 本通行→→新白島 22:04

広城公園前駅には、駅の外まで電車に乗る人の大行列が来ていた。私は、相当な待ち時間を覚悟していたが、行列の進み具合が以上に早く、私たちはものの10分ほどで電車に乗ることが出来た。車両は、またしても6000系だった。宗像は、1000系にも乗りたかったため、少しショックを受けていた。車内は、サンフレッチェサポとレッズサポで埋め尽くされていた。まさに異様な光景だった。そして、勝利の余韻に浸っていたら、あっという間に新白島に到着した。

5、夜行バスでいよいよ九州へ

新白島 22:20→→山陽本線 普通 海田市行→→広島 22:22

新白島駅では、北口改札から入ろうとしたが、なんと駅員がいなかった。しかし、駅員のいる南口改札と繋がるカメラがあり、18きっぷの私たちも入場できた。まさにハイテクだ。そして、来た車両は115系だった。海田市行だったため、車両の行先表示器が作動していなかったのが、印象的だった。そして、広島駅の改札付近には、ほぼカープファンとレッズサポしかおらず、まさにカオスだった。

広島駅 22:51→→広電2号線 普通 広電本社前行→→紙屋町東 23:03

広島駅到着後、コインロッカーから預けていた荷物を取り出して、広電に乗った。車内では、2人してずっと荷物整理をしていた。

広島バスセンター 23:35→→広福ライナー→→博多バスターミナル 6:43(通常 7:01)

バスセンターの中ではWi-Fiが繋がっており、今日の試合のハイライトなどを見て、快適に過ごすことが出来たが、インターネットに夢中になりすぎて、ギリギリの乗車となってしまった。バスでは、2人離れた席に座る予定だったが、キャンセルが出たのか一番後ろの2席が空いており、私たちはそこに案内された。そこは、まさに特等席だった。一番後ろのため、リクライニングが下げ放題な上、車内のトイレに最も近いので、トイレに行く手間が最小限で済むのだ。そして、隣が知らない人という状況ではなくなったので、遠慮なく眠ることが出来た。こうして観光三昧の2日目が終わった。



私が起きたのは、6時半頃だったが、起きてから10分ほどで博多バスターミナルに到着した。予定より18分早い到着だったが、私は博多駅でのんびりする時間が増え、嬉しかった。博多では、小雨が降っていた。

1、天然地獄めぐり

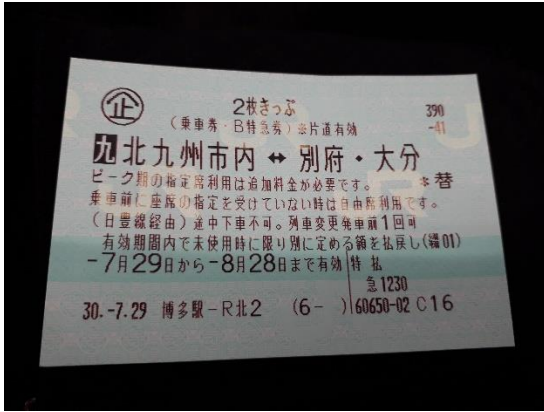
私たちは、博多駅であるものを購入した。それは、「2枚きっぷ」だ。この切符は、2枚つづりの切符で、九州の特急に通常より安い金額で乗車できるお得な切符だ。私は、北九州市内→別府・大分の切符を購入した。この切符の場合だと、通常3710~4190円かかるところ2980円で済むのだ。さらに、この日はピーク期だったため、指定席だと追加料金がかかるが、ピーク期ではないときは、追加料金なしで指定席に乗れる切符もあるので、便利でおすすめな切符だ。

博多 7:46 → → 鹿児島本線 快速 小倉行 → → 黒崎 8:38

博多駅には、783系や811系が停まっていた。そして、来た車両は、811系だった。私たちは、小倉までこの列車に乗り、ソニックに乗り換える予定だった。しかし、列車の発車時刻を見たときに、私はあることに気付いた。それは、私が、この日が日曜日であるにも関わらず、平日の時刻表を見て日程を組んでいたということだ。そして、休日の時刻表だと小倉到着前にこの列車がソニックに追い抜かされるということに、私は気付いた。そのため、私たちは急遽、小倉以外の北九州市内の駅である黒崎で降りた。もし、気付いていなかったら…。

黒崎 8:42 → 鹿児島本線・日豊本線 特急ソニック5号 大分行（自由席）→別府 10:14

来た車両は、885系だった。私は、883系を期待していたため、少し残念だった。黒崎発車後、車窓からはスペースワールドの跡地が見えた。意外にも、まだまだその面影は残っていた。そして、小倉発車直後に私は寝てしまい、気付いたら別府到着時刻の3分前だった。そのため、私はソニックでの記憶が全然ない。



▲購入した2枚きっぷ



▲乗車した885系

別府駅西口 10:20→→→亀の井バス 立命館アジア太平洋大学前行→→→海地獄前 10:38

別府では、空模様が怪しかったものの、雨は降っていなかった。そして、バス車内には外国人観光客が多くいた。それらの客のほとんどが、私たちと同じ海地獄前で下車していた。

私たちは、海地獄に向かったが、その途中であるタクシーの運転手に話しかけられ、こう訴えかけてきた。

「君たち真っ先に海地獄行こうとしているの？それはもったいないよ！おっちゃんが龍巻き地獄と血の池地獄案内してあげるから来なよ！」

私たちは、その情熱に負け、案内してもらうことにした。タクシーでは、運転手に巻地獄と血の池地獄と海地獄のみが天然の地獄で、あとはすべて人口の地獄だということを教えてもらった。そして、タクシーでもものの5分ほどで龍巻地獄に到着した。

龍巻地獄は、30～40分に1度噴出する地獄だが、私たちが到着したのは、噴出中の時だった。そのため、私たちは運よく待たずして、噴出を見ることが出来た。目の前で温泉が勢いよく噴出していたため、大迫力だった。これが天然だと思ふとまた一層素晴らしく感じた。そして、5分ほどで噴出が終わった。そして、私たちはタクシーで血の池地獄へ向かった。

血の池地獄は、龍巻地獄のすぐそばだった。血の池地獄は、本当に真っ赤だった。だが、温泉の下の泥が赤いため赤く見えるせいか、温泉は少し透明に見えた。そして、この地獄からは硫化水素の匂いが多くした。そして、私たちはタクシーで海地獄へ戻った。車内では、「海地獄は一番すごいから、絶対最後に見るべき！」と運転手が絶賛していた。

海地獄前到着後、案内してくれたタクシーの運転手とお別れし、いよいよ海地獄の目の前に来た。そこは、多くの煙に包まれた真っ青な地獄だった。奥では、温泉が勢いよく噴出しており、息をのむような美しさだった。さらに、温泉から湧き出る煙の勢いも凄まじく、私たちが煙に巻き込まれることもあって、面白かった。そして、私たちは近くの売店で土産を購入した後、「鬼石の湯」という温泉施設に

向かった。道中では、鬼石坊主地獄の中を少し眺めることが出来た。



▲噴出中の龍巻地獄



▲血の池地獄



▲海地獄

鬼石の湯の中には、室内風呂が1つと露天風呂が2つあり、どれも気持ちよく、旅も疲れを癒すことが出来た。そして、風呂でのんびりしていたら、なんと鬼石の湯を出るのが予定のバスの時刻の2分前となってしまった。私たちは、急いでバス停へ向かったが、バス停の場所が分からず迷っているうちに、バスは行ってしまった。そのため、私たちは急遽、バスの本数が海地獄前バス停よりも多い鉄輪バス停まで歩くことにした。

鉄輪 12:34 → → → 亀の井バス 別府駅前行 → → → 別府駅前 12:56

私たちは、鉄輪バス停まで歩いていたところ、なんと別府駅前行のバスに追い抜かされてしまった。しかし、追い抜かされた場所が鉄輪バス停の50mほど手前だったため、私たちは全力疾走し、何とか追い抜かれたバスに間に合うことが出来た。しかし、温泉で癒したはずの疲れが再び襲ってくることとなってしまった。そして、当初の予定の12分後に別府駅前に到着した。

2、特急ゆふいんの森！しかし…

別府駅では、駅前のレストランでとり天を食べる予定だったが、行列ができるほど混雑していた。私たちは、どうしても乗らなければならない電車がなかったため、仕方なく駅前でラーメンを食べた。これが、案外美味しかった。そして、代わりに駅でとり天弁当を買った。何故こんなにも電車の時刻を気にしているかという、ある観光特急に乗るためだ。それは、ゆふいんの森だ。ゆふいんの森は、全車指定席でピーク期には切符を取るのも難しい人気の高い特急だが、私たちは旅行1週間前に奇跡的に由布院から鳥栖までのゆふいんの森の切符を取る事が出来た。そのため、私たちはゆふいんの森に乗るのを楽しみにしていた。しかし、あんな悲劇が起こるとは…。

別府 13:29 → → → 日豊本線 普通 臼杵行 → → → 大分 13:42

来た車両は、815系だった。そして、車窓からは、別府湾と先ほどまで私たちがいた別府の街並みを見ることが出来た。

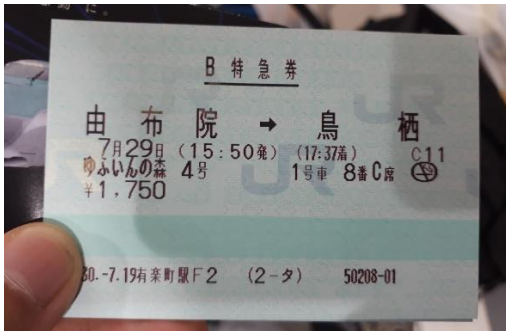
大分駅到着後、乗り換え時間が長かったため、私たちは改札の外に出ることにした。すると、改札の前

に「台風12号に伴う列車運休について」というものが書き出されているホワイトボードがあった。実はこの日、東から西へ行くという珍しい軌道の台風12号が九州に迫っていたのだ。広島の花火大会の中止もこの台風の影響だ。そして、ホワイトボードには加えてこんなものが書かれていた。

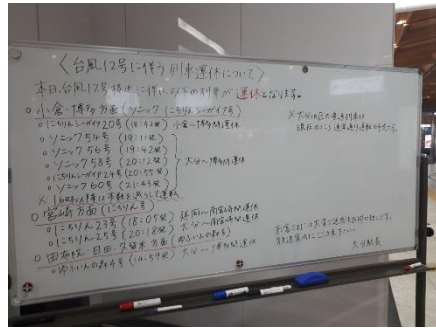
「ゆふいんの森4号(14:59発) 大分～博多間運休」

私は、一瞬にして絶望感に襲われた。そう、私たちはこのゆふいんの森4号に乗る予定だったのだ。この旅行では、サンライズ出雲に続いて2度目だったため、私はショックが大きかった。そして、宗像は茫然としていた。

私たちは、大分駅のみどりの窓口へ駆け込み、この日は長崎まで行く予定だったため、駅員と長崎まで行く方法を相談した。すると、駅員から「2枚きっぷを使い、博多経由で特急を使って行くのがいいと思いますよ。」と提案されたため、私たちはその提案に乗り、切符を払い戻すことにした。ありがたいことに、ゆふいんの森の切符だけでなく、長崎まで乗る予定だった特急の切符も無料で払い戻してもらえた。そして、そのお金で2枚きっぷを購入したが、元の切符の乗車券で学割を使っていたのにも関わらず、1000円以上余った。2枚きっぷお得すぎる…。これで、~~2枚きっぷにも学割が使えたらなー~~。私たちは、宗像のパソコンの充電と、私の精神を回復させるためにロッセリアで休憩した後、ホームへと向かった。



▲残念ながら無駄となってしまったゆふいんの森の切符



▲大分駅に置かれていた運休列車一覧

○ 由布院・日田・久留米方面 (ゆふいんの森号)
○ ゆふいんの森4号 (14:59発) 大分～博多間運休

▲アップにすると…

3、台風を追われながら

大分 14:45 → → 日豊本線・鹿児島本線 特急ソニック 38号 博多行 (自由席) → → 博多 16:47
車両は、883系だった。行きのソニックでは乗れなかった車両のため、私は少し嬉しかった。車内は、それなりに席が埋まっていたが、一番端の7号車だけすいていたため、私たちは難なく座ることが出来た。そして、ここで大分とはおさらばだ。大学生になったら、久大本線をリベンジするためにまた来たい。そして、車窓からは行きのソニックで寝ていて見ることが出来なかった風景が見えるはずだったが、台風の影響で大雨が降っていて、あまり見ることが出来なかった。そして、今日2度目の博多に到着した。

博多 16:55→鹿児島本線・長崎本線 特急かもめ 31号 長崎行 (自由席)→長崎 18:52

車両は、今日2度目の885系だった。車内は、ソフトバンクファンなどもいて、2人離れて座ることを覚悟させられるほど混雑していたが、一番端の6号車にだけ、2席揃って空いている席が1つだけあり、私たちは2人まとまって座ることが出来た。何故かこの日は一番端の車両ばかり空いていた。車窓からは、相変わらず大雨の街ばかり見えたが、列車が進むにつれ雨は弱まり、最終的に肥前山口を過ぎたあたりから雨はやみ、鉛色の空のみとなった。そして、車内では別府駅で買ったとり天弁当を食べた。弁当に付属していたポン酢との相性が抜群で、美味しかった。そして、食べ終わる頃には長崎に到着していた。

長崎駅には、「世界新三大夜景 NAGASAKI」という看板があったが、台風の影響によるロープウェイの運休が発表されていたため、私たちは、夜景を見ることが出来なかった。悔しすぎる。そして、私たちはホテルへ向かった。長崎駅前と書いてあるにもかかわらず、徒歩で10分以上かかった。これが後に悲劇を招く…。

4、夜の長崎観光

私たちは、ホテルで1時間ほど休憩した後、ちゃんぽんを食べに駅前に戻った。本場のちゃんぽんはやはり美味しかった。By 宗像 なお、私は魚介類全般嫌いなので、食べることが出来ません。その代わりに、ネギラーメンを食べたが美味しかった。ぶっちゃけちゃんぽんよりこっちの方が美味しいんじゃない？~~あくまで個人の感想です。~~そして、店を出た頃には、雨が降っていた。

長崎駅前 21:47→→長崎電軌3系統 普通 蛍茶屋行→→公会堂前(現 市民会館) 21:52

私も宗像も人生初の長崎電軌乗車だったが、あつという間だった。そして、私たちの訪れた公会堂前だが、8月1日の改名により、現在は市民会館という名前になっている。改名の3日前に来たのだから、駅名標の写真くらい撮っておけばよかった…。

私たちは、眼鏡橋へ向かった。眼鏡橋は、ライトアップされていて綺麗だった。その近くの袋橋や東新橋も立派なアーチが光によってはっきり見え綺麗だったが、何よりその下を流れる中島川が多くの光を川面に映し出し綺麗だった。これらを上から眺めることが出来たらなと想像してしまっただが、長崎の名所を十分楽しめた。そして、帰り道にはかわいい猫がいた。撫でようとしてすぐに逃げられたとは言わない。

公会堂前(現 市民会館) 22:39→→長崎電軌3系統 普通 赤迫行→→長崎駅前 22:44

車内では、ジャパネットたかたで有名な高田明さんのアナウンスなどが流れていて、長崎に来たことを実感させられた。

雨に濡れながらも、私たちはホテルに戻った。こうして、トラブルに巻き込まれ、いつの間にか1日5

食となってしまった3日目が終わった。



▲夜景はまた今度に



▲眼鏡橋



▲美しい中島川



1、大トラブル発生!!!

この日、私たちは長崎7:10発の鳥栖行の普通電車に乗る予定だったが、ホテルの出発が電車の発車時刻の7分前となってしまった。その詳しい理由は、私に直接聞けば隅から隅まで教えてあげるよ♪私たちは、昨日まで台風が迫っていたことがまるで嘘のような快晴の中、急いで長崎駅へ向かったが、改札を通り終えたタイミングで乗る予定の電車は発車してしまった。これにより、私たちは特急に乗らざるを得ない状況となってしまった。すると、突然宗像が、「荷物を家に届けるためにホテルに戻りたい」と言い出したのだ。私は、その時ちょうど目の前に停まっていた7:42発の快速シーサイドライナーに間に合うように戻ってこいと言い、彼をホテルに行かせた。しかし、私たちが乗るべきだったのは、7:42発の快速シーサイドライナーではなく、7:28発のかもめ6号だったのだ。このかもめ6号に乗れば、諫早で私たちが乗り損ねた鳥栖行の普通電車に追いつくことができるのだ。しかし、その事実気付いた頃には、宗像の姿は駅にはなかった。そして、無情にも彼が戻ってくる前にかもめ6号は発車し、さらに、目の前の快速シーサイドライナーも彼が戻ってくる前に発車してしまった。そして、彼は焦った表情で駅に戻ってきた。私は、その顔を見て思わず大笑いしてしまった。出た出た鹿より卑劣な

~~大関~~結局、私たちは8:46 発のかもめで肥前鹿島まで行くことにした。追加で2290円かかってしまったが、2枚きっぷで得した分と、ロープウェイの運休により浮いた分のお金で何とか賄うことが出来たような気がする。そして、空いた時間でお土産を買うことも出来た。さらに、ホームでは885系のサガン鳥栖ラッピング車が入線していた。~~場違い感半端ねえ~~。そして、何故か長崎駅に到着する電車の多くが遅れていた。

長崎 8:46 → → 長崎本線 特急かもめ 10号 博多行 (自由席) → → 肥前鹿島 9:52

車両は、787系だった。3日目には乗れなかった車両のため、私は結構嬉しかった。そして、車内のシートはふかふかで気持ちよかった。ここで、長崎とはおさらばだ。大学生になったら、天気警戒しながら、夜景を見るためにまた来てやる。そして、寝ていたらあつという間に肥前鹿島に到着した。~~ここは茨城か?~~

肥前鹿島 10:03 → → 長崎本線 普通 鳥栖行 → → 鳥栖 11:16

来た車両は、817系だった。途中、車窓からは弥生時代の遺跡で有名な吉野ヶ里遺跡を眺めることが出来た。そして、鳥栖に到着した。



▲サガン鳥栖ラッピングの885系



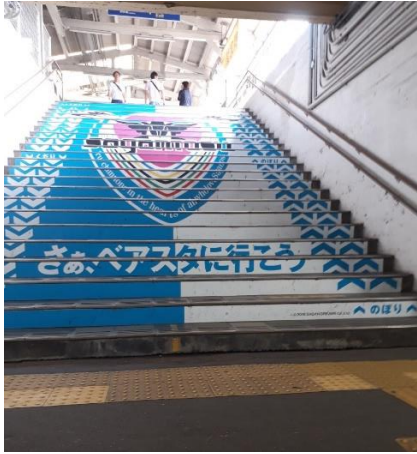
▲私たちの乗った787系



▲私たちの乗った817系

2、ピンクと水色まみれ

鳥栖駅は、サガン鳥栖カラーのピンクと水色で染まっており、駅からは、サガン鳥栖のホームスタジアムであるベストアメニティスタジアムがはっきり見えた。そして、駅構内には、選手や監督の等身大パネルや選手のサイン入りユニフォームが飾られていた。私たちは、どうせならとベストアメニティスタジアムの周りを一周することにした。この日は試合がなかったため、スタジアムの周りには、静寂で包まれていた。そして、そこからはスタジアムのスタンドをうっすらとみることが出来、私は、今度は試合のある日に来たいなと思った。駅に戻ると、鹿児島本線の大野城駅で普通列車の車両屋根上から煙が出るというトラブルにより、鹿児島本線のほとんどの電車が遅れているということが分かった。長崎駅に来自長崎本線の電車の多くが遅れていたのも、これが原因である。そのため、鳥栖駅では、電車の到着ホームの変更などが行われていて、駅構内は混雑していた。



▲何だこの雰囲気は…

▲駅構内に飾られていたユニフォーム ▲選手と監督の等身大パネル

鳥栖 12:20→→鹿児島本線 普通 八代行→→大牟田 13:03

私たちは、唯一遅れていなかった鳥栖始発のこの電車に乗ることにした。車両は、815系だった。ホームの混雑のわりに、車内はすいていた。そして、定刻通りに大牟田に到着した。

3、いざ西鉄！いざラーメン！

大牟田 13:23→→西鉄天神大牟田線 特急 西鉄福岡行→→西鉄福岡 14:25

私たちは、ここから西鉄に乗ることにした。私にとっても宗像にとっても初めての西鉄だ。車両は、3000形「水都」だった。車体は、柳川の花火や花や祭りをモチーフにしたデザインが描かれており、カラフルでゴージャスだった。車内には、文化財レプリカの刀や扇子が飾られていて、この電車で普通料金で乗っていることに違和感を覚えた。そして、列車は、JRとの並走区間や、この車両のコンセプトとなった柳川の街並みや、ホーム幅がかなり狭いことで有名な味坂駅を抜け、西鉄福岡に到着した。

西鉄福岡駅は、私が西鉄に乗る際は是非行ってみたいと思っていた駅だったので、来ることが出来て嬉しかった。この駅は、西鉄唯一のターミナル駅であるため、8000形「水都」の他にも9000形ク9500などが停まっていた。



▲ベストアメニティスタジアム

▲1号車側から見た水都

▲6号車側からだど…

▲文化財レプリカ

私たちは、福岡名物の豚骨ラーメンを食べたかったため、「元祖長浜屋」に行くことにした。本来なら、バスもあったが、時間がなかったため、私たちはタクシーで向かった。しかし、天神の街は、多くの人や車で混雑しており、中心街を抜けるだけでも7分ほどかかった。私が運転手だったら、相当ストレス溜まるだろうな。そして、車内では、運転手が長浜エリアの豚骨ラーメンの魅力を熱く語って

た。10分ほどで「元祖長浜屋」に到着した。店内は、2時半過ぎにも関わらず、多くの客がいた。そして、メニューは「ラーメン」「替え玉」「替え肉」と飲み物類のみだった。これだけでも、ラーメン一本で勝負し続けていることが伝わってきた。そして、入店からわずか3分ほどでラーメンが出てきた。やはり美味しかった。スープは、こってりしすぎず、肉は、いい塩加減で、麺は、スープとよく絡んでいて、豚骨ラーメンの美味しさが存分に出ていた。細麺のため、私はあっという間に食べ、替え玉までしてしまった。そして、私たちは店を出て、赤坂駅まで歩いた。

赤坂 15:27→→福岡市営地下鉄空港線 普通 福岡空港行→→博多 15:35

来た車両は、JR九州でも走っている305系だった。車内は、床に大量のQRコードが貼られており、面白いデザインだった。

4、さらば九州

博多 15:46→→鹿児島本線 快速 門司港行→→小倉 16:55

これで、今回の旅行3度目の博多駅だ。相変わらず大きい。そして、来た車両は、811系だった。車窓からは、前日に雨のせいで見えにくかった景色をはっきりと見ることが出来た。途中、宗像という地名の場所を通ったりもした。~~なんて神聖な地名なんだ...~~ By 宗像そして、小倉に到着した。

JR小倉駅・新幹線口 17:20→→阪九フェリー連絡バス→→新門司第一ターミナル 17:55

バス車内には、意外にも家族連れが多くいた。車内からは、文字の街並みなどを見ることが出来た。そして、~~夫袈裟すぎる~~がまるで首里城のようなフェリーターミナルの新門司第一ターミナルに到着した。

新門司港 18:40〜〜阪九フェリー つくし 神戸港行〜〜神戸港 7:10

新門司港からは、阪九フェリー「つくし」に乗船した。船内は、ホテルのような豪華な内装となっており、売店や風呂やレストランやゲームセンターがあり、設備が充実していた。船内には、団体客の学生が多くいた。そして、私たちの部屋は、2等指定Bの1人部屋だった。といっても、1室の巨大な部屋の中に壁と鍵付きのドアによって形成された10室の個室があるようなものだった。しかし、その分値段が結構安かったため、私にとっては嬉しかった。私たちは、部屋で少し休憩した後、夕食を摂るためにレストランへと向かった。他のフェリーでは、~~無駄に高い~~バイキング形式のレストランが多いが、このフェリーは注文形式だった。そして、私はピザを食べたが、船の上で食べる料理とは思えないくらい美味しかった。そして、部屋に戻った私は、~~友達にイタ電をかけることくらいしか~~やることなく、疲れていたためか22時頃に寝てしまった。こうして、朝のトラブルの印象が強すぎる4日目が終わった。



▲ラーメン美味しかった



▲フェリーでの部屋



▲フェリーでの夕食



私は、6時ごろに起床し、フェリーの甲板へ向かった。そこからは、美しい瀬戸内海と昇りきった朝日を見ることが出来た。そして、奥にはうっすらと本州の街並みも見えた。私は、前日に風呂にも入らずに寝ていたため、朝風呂に入ることにした。風呂には、窓がついており、そこからは青く輝く瀬戸内海を眺めることが出来た。「夜に風呂に入っていたら、暗闇しか見ることが出来なかったんだろうなー。」と思うと、得した気分になった。そして、風呂から出た後、再び甲板へ向かうと、フェリーが本州に近づいているのがはっきりと分かった。そして、部屋に戻って下船準備をし、完了するなり受付に部屋の鍵を預けた。一方その頃、宗像は、無事に起きていたが、下船準備に時間がかかりすぎたためか、受付に部屋の鍵を戻すのが遅すぎて、アナウンスで呼び出されていた。ナイスアナウンス。そして、神戸港についてすぐに、私たちは下船した。

5日目の計画に関しては、宗像が計画を立てたいと言っていたため、計画に関して下記の条件を付けて、宗像にすべて任せることにした。

- 22:30 までに東京に戻る。
- 昼食・夕食をゆっくり摂れる時間がある。
- お金(私鉄代など)がかかりすぎない。

これらの条件が一体どうなったのか。突然だが、ここからは計画者である宗像に続きを書いてもらおう。

ということで、5日目は私、宗像がお送りする。

1、3日ぶりの関西

神戸フェリーのりば 7:23 → → 阪九フェリー連絡バス → → アイランド北口駅 7:30

フェリーを降りると、私たちは連絡バスに乗り、アイランド北口駅で下車した。ここからしばらくはいつの日かの鉄研旅行でも同じルートをたどった覚えがある。

アイランド北口 7:36 → → 神戸新交通六甲アイランド線 普通 住吉行 → → 魚崎 7:40

アイランド北口から六甲ライナーに乗って、魚崎で阪神電車に乗り換える。六甲ライナー乗車は4分という短い時間で終わりを迎えた。六甲ライナーは路線自体が短く、路線図がそれを感じさせる。また、余談ではあるが、周辺住民のプライバシー保護のため、「瞬間くもりガラス」なるものも導入されている。最近のテクノロジー、すげえ…。

魚崎 7:59 → → 阪神本線 直通特急 梅田行 → → 尼崎 8:14

魚崎からは阪神電車に乗って、大阪難波駅を目指す。車両は8000系だった。車内はリニューアルされており、落ち着いた雰囲気を醸し出していた。車両はこの時間ともなると、車内は満員だ。少しだけよみがえった通学の時の感覚を、直通してくる近鉄や山陽電鉄の車両とすれ違いながら感じるのであった。

尼崎 8:14 → → 阪神なんば線 快速急行 近鉄奈良行 → → 大阪難波 8:29

ここから阪神なんば線に乗り換える。来た車両は近鉄の1026系だった。近鉄の車両はマイナーチェンジをした時の編成番号から形式名を取るといったことがあるため、近鉄の車両は形式を覚えるのが難しい。ほかに端数が出る形式には、1201系、1233系、1422系、6441系などがある。う〜ん…覚えられん…。

難波駅到着後、近くのSTARBUCKS COFFEEで加藤とともに少しくつろいだ。いつもよく飲んでいる「抹茶クリームフラペチーノ」を味わいつつ、今後の行程についての案を組んでいた。

難波 9:55 → → 南海本線 区間急行 和歌山市行 → → 天下茶屋 9:59

なんば駅に到着し、南海電鉄のホームへと向かう。なんば駅は、正式には難波駅なのだが、「なにわ」との混同を防ぐため、ひらがな表記にて案内されているのが特徴だ。

駅に入るとまず、「住吉大社へ 行こう！」のPOPが目立つ。あれ…銀の文字の下に赤文字…どっかで見たことあるような…

人々人々人々人々人々

—
> 5000兆円 欲しい! <
—

YΛYΛYΛYΛYΛY

一寸懐かしいそのデザインに、少し笑ってしまった。

ホームに入ると、私は、自分の記事用に南海 8000 系を撮っていこうと思った。そして探してみると…
いた!

写真を撮りつつ、他の車両の写真も撮っていたら、8000 系は発車してしまった。と思っていたらもう一本 8000 系がいる! そうだ、これ乗ろー! って回送じゃん!

あ、1000 系のリニューアル車が止まっている! 乗ってこ。

という、感情の揺らめく 10 分間を体験した後は、モーター音を聞きながら、天下茶屋へ向かった。

1000 系のインバーターは、日立製作所の後期 GT0-VVVF である。また歯車は小さい歯車の歯数が 14 (歯車比は 14:99) であり、これが高速で走行するとたまらなくいい音を出す。甲高いインバーターの音、モーターの回転する音、歯車の噛み合う音、~~水素の音 (ないです。)~~、それらすべてが一つになって、まるで、所謂「テンションの上がる曲」のようだった。液晶画面 (三菱電機製「セサミクロ」) も設置されていた。なんだか関東の雰囲気をも醸し出していた。

天下茶屋 10:10→→大阪メトロ堺筋線・阪急千里線・阪急京都本線→→茨木市 10:51

さて、天下茶屋からは、大阪メトロ堺筋線に乗って、阪急を通過して京都河原町へと向かう。さっそく電車に乗ろうと思うと、両方のホームに阪急の車両が止まっている。阪急の車両が多いのか、それともメトロの車両 (66 系) が少ないのか? など考えながら乗り込む。車両は阪急 7300 系のリニューアル車、東芝製のフルハイビジョン液晶がついている。これにしばらく乗車していると、茨木市駅で、後続の特急の待ち合わせをすることが分かり、そちらに乗ることにした。

茨木市 10:57→→阪急京都本線 特急 河原町行→→河原町 11:23

車両は 9300 系だった。東洋電機製造製の IGBT-VVVF に小歯車 16 系列 (高速域の音の重なりが 8 度) の組み合わせである。この組み合わせのモーター音はほかに、名古屋市営地下鉄 N3000 形でも聞くことができるが、ここまで高速で聞けるのは、9300 系ならでのことだ。

しばらく乗っていると、JR 西日本の 223 系 2000 番台と並走を開始した。住宅や道路の傍を駆け抜ける熱いレースだった。

さて、レースが終わると、電車は地下区間に入る。もう河原町は目前だ!



▲例のフォントの広告…



▲南海 1000 系のリニューアル車



▲阪急 7300 系のリニューアル車

祇園四条 11:35→→京阪本線 準急 淀屋橋行→→東福寺 11:40

河原町駅で降りると、祇園四条駅まで少し歩いた。途中、四条大橋を渡ることができ、そこから見た鴨川は絶景だった。鴨川を見たことによって、京都に来たことを実感させられた。京阪電車(京阪線系統)に乗るのは実に久しぶりだ。東福寺で降りるために特急を見送る。プレミアムカーを生で見たのは初めてだ。私たちが乗ったのは9000系。車内に成田山のお守りがあったのが印象的だった。東福寺ではすぐ隣に奈良線のホームがあったので、乗り換えた。

東福寺 11:52→→奈良線 普通 京都行→→京都 11:54

東福寺駅の改札は、多くの外国人客で混雑していたため、18きっぷを使う私たちは、改札を通るだけでも時間がかかった。電車を待っていると、列車接近案内用の行灯から、「電車がまいります。ご注意ください。」という声が流れてきた。JR 東日本の俗にいう「仙石型放送」の女声の方、戸谷美恵子氏の声である。調べてみると、どうやら三共電子という放送機器会社の専属アナウンサーさんのようだ。また、男性専属アナウンサーは山田吉輝氏であり、「仙石型放送」の男声の方も担当されている。そのあとは、駅全体のスピーカーから、永楽電気製の放送と、接近メロディー。それとともに姿を現したのは、205系である。体質改善され、とても綺麗になっている。車内も JR 西日本の雰囲気が強くなっている。いつも乗車する東日本の205系と同じ形式なのに、何か違う、不思議な車両だった。それは、同じく元205系であった富士急6000系に初めて乗った時と同じ感情だった。

京都到着後、私たちは鶏そばを食べることにした。鶏そばは、柔らかい鶏のチャーシューが乗っており、白湯スープが効いていて美味しかった。そのため、私はいつの間にか汁まで完食していた。そして、鶏そばには八つ橋もついていた。京都らしい。

京都 12:41(通常 12:37)→→東海道本線 快速 米原行→→大津 12:50(通常 12:46)

と、ここで電車が少し遅れた。ということで、私たちは少しでも米原方面に行くため、快速に乗車。大津到着前、後続の新快速に乗るという計画に変更した。



▲四条大橋から見た鴨川



▲鶏そば美味しかった



▲この日は、新快速が遅れていた

大津 13:09 (通常 12:25) → → 東海道本線 新快速 野洲行 → → 野洲 13:27 (通常 12:43)

大津から野洲行の新快速に乗った。しかし、野洲からの電車の連絡がなく、私たちは野洲で待つこととなった。

ここで加藤が、静岡県内のレストラン、「さわやか」を検索していた。

しかし、ここから割と時間がかかり、「さわやか」に行くことはできなかった。加藤には、この場を借りてお詫びいたします orz (←軽いなおいw)

野洲 13:43 (通常 12:58) → → 東海道本線 新快速 長浜行 → → 米原 14:08 (通常 13:23)

ここから、ようやく米原行新快速に乗車。車両は 223 系 1000 番台だ。来た瞬間、私と加藤は大喜びだった。223 系 1000 番台は、ビードプレス付き、初の新快速車両ということで貫録があるし、補助席使用時に背もたれ部分が出てくるので座り心地がいい(223 系 1000 番台以外はコストダウンのため座席収納部の空洞がそのまま)ことや、東京メトロを連想させるモーター音でいながら 130km/h 運転をするなど、興味深くて好きな車両のひとつである。

2、さらば西日本、そして名古屋地区へ…

米原 14:30 → → 東海道本線 普通 大垣行 → → 大垣 15:05

米原から、ついに JR 東海管内に入った。JR 東海のオールマイティ車両こと 313 系がやってきた。行先表示が幕式の車両だった。これに乗って大垣に向かう。クロスシートだったが、空いていたので、二人で並んで座り、談笑していた。

大垣 15:11 → → 東海道本線 特別快速 豊橋行 → → 名古屋 15:44

大垣からは、特別快速で飛ばす。またしても 313 系だったが、今度はかなり新しい編成で、行先表示は LED 式で、車内も LED 照明が使われていた。特に、岐阜を超えると、名古屋までの停車駅は尾張一宮だけだ。そのため、西日本の新快速ほどではないが、かなり爆走していた。

名古屋 15:56 → → 名古屋市営地下鉄桜通線 普通 徳重行 → → 丸の内 15:59

名古屋到着後、全国地下鉄制覇の夢を果たすべく、名古屋市営地下鉄のホームへと歩を進めた。まず、桜通線に乗って丸の内へ向かう。車両は 6000 形だった。この車両は、なんだか東急 9000 系を彷彿とさせる車両だ。側面が本当にそっくりだ。ドアチャイムも、鳴動の仕方は違っても、音色は同じだ。

丸の内 16:10→→名古屋市営地下鉄鶴舞線 普通 豊田市行→→上前津 16:15

鶴舞線。ホームにつくと、さっき乗った阪急 9300 系と同じモーター音を奏でる N3000 形が…発車していった…。仕方なくホームで待っていると、最古参である 3000 形がやってきた。引退が近いようなので、もしかしたら最初で最後の乗車になるかもしれない。

上前津 16:22→→名古屋市営地下鉄名城線(左回り)→→金山 16:25

名城線に乗り換える。名城線は、全車が 2000 形という比較的新しい車両で構成されている。また 2000 形は、名港線でも共通で運転される車両である。名城線と名港線は、名城線と名港線は金山駅で接続をとるため、金山駅は 2 面 4 線で構成され、とても大きい駅だと感じた。

金山 16:35→→東海道本線 新快速 豊橋行→→豊橋 17:27

金山から豊橋まで、新快速に乗っていった。この旅行で「新快速」という種別に乗るのもこれが最後。豊橋から熱海までの所謂「静岡地区」に入った途端、普通列車のオンパレードなのだ。

3、怒濤の各駅停車、静岡地区！

豊橋 17:42→→東海道本線 普通 浜松行→→浜松 18:17

豊橋からは、静岡地区に入ったが、車両が同じである分、実感はあまりわかなかった。しかし、駅のナンバリングが長さを感じさせた。これから私たちは、豊橋(CA42)を出て、欠番もなく、しかも各駅に止まり熱海(CA00)を目指すのだ。実に 42 区間の乗車が始まった。新幹線と並走しながら、電車は浜松へと走っていく。

ここからしばらく、静岡地区の間は、駅ナンバリングを交えて駅を表そうと思う。

浜松 18:26→→東海道本線 普通 興津行→→静岡 19:38

浜松(CA34)から乗り換えをして、静岡(CA17)へ向かう。静岡についたころには、もう時刻は 19 時を回っていた。ここから、僕は静岡鉄道の A3000 形の撮影のために、静岡鉄道に乗ろうと提案したが、あることか、静岡鉄道では旧型車(1000 形)しか来なかった挙句、私、宗像だけ乗り遅れるというハプニングが発生した。

新静岡 19:47→→静岡鉄道静岡清水線 普通 新清水行→→草薙 19:59

乗り遅れたということで、加藤は新静岡駅から静岡鉄道 1000 形に乗車、私は急いで静岡駅に引き返した。

A3000 形については、8 月に、鉄研部員 3 人とまた別の旅行に行った帰りに無事撮影できた。

本日何度目の乗車になるだろうか。313 系が止まっていた。何とか間に合ったと汗をぬぐい、そのまま乗車した。静岡鉄道では 9 駅ある新静岡から草薙(S01→S10)だが、東海道線静岡から草薙は、東静岡を

挟んで2駅(CA17→CA15)だ。

草薙到着の際の電光掲示板の英語表記が、何かのミスなのか、「We will soon make a brief stop at Higashi-Shizuoka. (まもなく東静岡に到着します。)」になっていた。

【宗像】静岡 20:04→→(下記の電車と同じ)→→草薙 20:10

草薙 20:10→→東海道本線 普通 熱海行→→熱海 21:23

ということで、無事合流できて、一件落着。熱海までは、もう十数駅だ。

草薙を出てすぐ、清水(CA14)まで静岡鉄道と並走した。こちら側に駅は一つとしてなかったが、静岡鉄道側にはいくつか駅があった。一度だけ、新型車両 A3000 形とすれ違った。

原(CA05)の次駅表示「次は 原」がバグを起こして「次は 原 E」というような表示になっていた。

沼津(CA03)にて、長時間停車(と言っても6分だが…)があったので、飲料を購入したり、少し外の空気を吸ったりした。

4日ぶりのJR東日本管内はもうすぐだ！

沼津を出ると、またしても大きな駅、三島(CA02)に到着した。ここでもたまたま長時間停車があるようだが、今回はすぐに発車した。そして、JR東海管轄区間最後の駅、函南駅(CA01)へと到着した。函南駅を出てすぐ、トンネルに入り、しばらくすると見覚えのある車両とすれ違った。E231系だ。JR東海への直通運用だろう。トンネルを出た先にはJR東日本の駅名標で、「来宮」の文字。伊東線だけ止まる駅だ。来宮を通過したということは…、なんて思うより前に「まもなく、終点、熱海に着きます。」とアナウンスされた。「ドアから手をはなしてお待ちください。」という放送を聞けるのもここまでだ。そしてついに、熱海に到着した。

4、ついに東日本へ！

熱海 21:28→→東海道本線 快速アクティー 東京行→→東京 23:08

ここから快速アクティーに乗った。通過駅があるのも少しだけ久しぶりだ。

小田原に到着。小田急・箱根登山線、大雄山線に挟まれ、熱海のようなにぎやかさがあった。そのあとは、二人で「マリオカート」の対戦をしながら東京を目指していった。相鉄や京急の車両との並走が、東京が近くなったことを感じさせる。

そして東京到着。私は加藤と有楽町で別れ、山手線と東急線を使って帰りましたとき。めでたしめでたし。

まあ、22:30 到着は達成できませんでした。てへぺろ w



再び加藤です。今回は、最後まで読んでいただきありがとうございました。今回は、受験前最後の大型旅行でしたが、本当に自分自身楽しめたと思います。そして、駐車場の執筆は、鉄研引退までにやってみたかったことだったので、嬉しかったですし、この執筆が旅行をいろいろと振り返ることが出来るいい機会になったと思います。ただ、慣れていないせいか、長ったらしい文章になってしまいましたね。また、サンライズ出雲やゆふいんの森の運休で、少し鉄道ネタに欠ける部分があると思います。しかし、それは私と宗像の悪運のせいもあるかもしれませんが、一応は天候のせいなので、お許してください(笑)。そして、私は、旅行記の執筆は分かりませんが、旅行は大学生になっても続けていこうと思います。今回、行くことのできなかつた場所は、その時に行こうと思います。この旅行記を見て、広島・九州に行ってみたいなと思ってくれたら、嬉しいです。

参考文献

えきから時刻表 [https:// http://www.ekikara.jp/top.htm](https://http://www.ekikara.jp/top.htm)

Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/>

皆さん、旅行では台風に気を付けましょう！